



令和7年度学校・家庭・地域連携総合推進事業

第2回地域学校協働活動推進員・地域連携担当教職員等研修会開催

11月27日(木)に横手市雄物川コミュニティセンターで、「第2回地域学校協働活動推進員・地域連携担当教職員等研修会」が各小・中学校の学校運営協議会委員や地域学校協働活動推進員、教職員、市町村教育委員会関係者等100名近くが参加し、開催されました。

今年度の研修会のテーマは「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進～つながりの生かし方～」とし、豊かなつながりを生かした学校づくり・地域づくりについて研修を深めました。

研修Ⅰでは、仙北市、西明寺地区のつながりを生かした取組について、仙北市教育委員会CSディレクター 相澤克彦氏、仙北市教育委員会地域学校協働活動統括推進員 照井美久氏、仙北市立西明寺小学校長 判田久樹氏、西明寺中学校推進員 門脇光浩氏、西明寺小学校推進員 高橋新子氏の5名に話題提供をしていただきました。これまでの活動実績や話題提供者の思いを聞いた参加者は、今後の活動や課題解決に向けた多くのヒントを得ることができました。

研修Ⅱでは、「学校づくり・地域づくりを進めるための地域・学校・家庭の豊かなつながり」についてグループセッションを行いました。各学校におけるつながりを生かして進められている地域学校協働活動の実践紹介や、さらにつながりを豊かにするための方策について活発な意見交換・情報共有が行われ、今後につながるアイデアを持ち帰りました。



参加者のアンケートから

- ・「学校を核とした新たなコミュニティづくり」のために地域や推進員、学校がどのようにして「つながり」を構築していったのか紹介していただき、大変参考になった。
- ・西明寺小・中の取組が大変興味深かった。地域学校協働活動推進員を中心に、地域を、学校をこんな風にしたいという強い思いをもって学校の教育目標に沿いながら、取り組んできたことが分かり、まさに win-win の関係が構築されていた。学校と地域、腹を割って本音で話し合う時間を取りたいと思った。
- ・どの学校も地域の特性を生かした取組で参考になった。ヒト・モノ・コトをどのように確保するか、少子化が進む中で無理なく持続できるつながりはどのようなものがあるかということを考えていきたい。
- ・みんな熱い方々ばかりで、幸せな時間を過ごすことができた。この思いが少しでも多くの地域の方々に伝わってくれたら、子どもたちも地域も保護者も熱く元気になると信じて、活動を頑張りたい。
- ・たくさん学ばせていただいた。自校や地域に持ち帰り、ふるさとを愛する生徒をたくさん育てていきたいと強く感じた。

